

花高野球部通信



岩手県立花泉高等学校野球部ニュースレター
刊行50回記念号



第50号 主な内容

第73回春季東北地区高等学校
野球岩手県大会 県南地区
予選

先輩方の活躍レポート

～春季大会の反省と成長、そして未来へ～



本校野球部は県南地区予選に臨みましたが、結果は悔しさの残るものとなりました。

一回戦 対 水沢第一 4-5
敗者復活一回戦 対 一関修紅 2-8



接戦となった一回戦では最後まで粘りを見せたものの、あと一步及ばず惜敗。続く 敗者復活戦では流れをつかみきれず、力の差を見せつけられる結果となりました。今大会を通して改めて浮き彫りになったのは、「本番で力を出し切る難しさ」です。日頃の練習で培ってきた力を試合で発揮できるかどうか――その差が勝敗を分けました。

この悔しさを胸に、チームはすでに夏へ向けて動き出しています。課題と向き合い、一つ一つ克服していきます。

練習試合で見えた成長

大会後に行われた練習試合では、チームの確かな成長が見られました。

対 遠野 3-3
対 盛岡大附属B 4-1
対 盛岡誠桜A 1-2
対 黒沢尻工業 8-2

強豪校を相手に互角以上の戦いを展開し、勝利を収める試合もありました。特に攻守両面での積極性、試合の流れを読む力は確実に向上しています。課題であった「勝負所での強さ」も少しずつ改善されつつあり、チームとしての一体感もより高まってきました。

先輩方の活躍レポート

令和6年度卒業生 小野寺 蓮（岩手県立大学）
～北東北大学野球2部春季リーグ戦 出場～



本校野球部の卒業生である小野寺蓮選手が、北東北大学野球2部春季リーグ戦に出場しました。

弘前大学戦では4-7で惜しくも敗れましたが、ヒットを1本放ち、チームに貢献しました。

小野寺選手は高校時代、1年秋からレギュラーとして活躍。レフトやファーストを中心にチームを支えました。

何よりも特徴的だったのは、その野球への真摯な姿勢です。

引退後も高い目標を持ち続け、努力を重ねながら学業にも励み、見事岩手県立大学に進学。文武両道を体現する存在として後輩たちの目標となっています。

今後のさらなる活躍が大いに期待されます。

「練習ではできる」を「本番でもできる」へ——。
夏の大会に向けて、“本番に強い集団”への進化を目指します。



おわりに

春の結果は決して満足できるものではありませんでした。しかし、この経験はチームにとって大きな財産です。

「悔しさ」を「強さ」に変えることができるかどうか——それが夏の結果を左右します。

応援してくださる皆さまへの感謝の気持ちを忘れず、野球部一同、日々の練習に全力で取り組んでいきます。

今後とも温かいご声援をよろしくお願いいたします。